

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 / 組 名前

私は、このボランティアに参加して、
おもてなしして、大事だなと思いました。走っている
方みんなが汗をたくさんかいて、かんはって
いたので、次々と人が来たので、コップに氷を
入れてあげるのが、とても大変でした。
それに、「ゴミはここです」と声かけをして
いると、走っている方たちが、「ありがとう」と
言ってくれたので、とてもうれしかったです。
とても、このロードレースボランティアは、
やりがいがありました。そして、おもてなしを
するという、良い経験になったと思います。
また、来年も、ボランティアに参加したいと
思いました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 1組 名前、

わたしは初めてボランティアに参加して、初めてこんな大変なことをしました。まずは、ゴミ拾いをして、すごく大変でした。ランナーに「ここにゴミを捨て下さい。」や「ゴミはここで一掃。」などの呼びかけも、大きい声で言うのがとても大変でした。あとは、ランナーに水を配ったり、紙コップを分けたりして、すごく楽しかったです。すごく楽しくて時間が過ぎるのがとても早く感じました。もう少しボランティア活動をして、良いかなと思いました。校長先生が「みなさんがボランティアをしていなければ、ロードレースはできなからず。」と、言っていて、わたしはボランティア活動はとても大切な事なんだと改めて思いました。6年生になったら、またボランティア活動をしたいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 2組 名前

ぼくはこのボランティアでたくさんの方のことを学びました。ぼくが入っているサッカーチームの会長が走っていて知らなかったのでおどろきました。サッカーの練習の日に見に来てくれたり他のチームと打ち合わせをして試合や合宿ができるようにしてくれたりしています。いつもこのようにぼくたちを支えてくれている会長が走っていたので今回はぼくが応えんして支える時だと思いました。カスミの店長も来てくれて選手の応えんだけでなくボランティアできている自分たちの応えんもしてくれてうれしかったです。流山ロードレース大会はけいさつ宮や今までぼくはテレビでしか見たことなかった白バイも、ゆうどうしていてそれだけ大きい大会だということもわかりました。またいろいろなボランティアに参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 3組

名前

ぼくは流山ロードレースボランティアに参加して走っている人たちにいい流山ロードレース大会だったと思ってもらったためにこころがけたことはまず応援は全体じゃないといけないと思いましたが応援をしながら走っている人が「ありがとう」といってくれたのでぼくもおうえんがんばらないと思いました。次にゴジを走るとき少しでも走っている人がらくに走れるようゴジはこを少しかたむけてきてやすいようにしました。このロードレース大会ではおもてなしする気持ち、やさしさの気持ち且かけ合いというのの事をぼくは学びました。6年生でもボランティアに参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」 流山ロードレースボランティアに参加して

5年 3組 名前

ロードレースのボランティアをやろうと思ったきっかけは、昨年のロードレース大会のボランティアをしている小山の5・6年生が、大変そうだけど、楽しそうだったので、「自分もやってみよう」と思い参加しようと思いました。

ロードレースのボランティアをやってみて思ったことは、最初はゴミをあげるだけで、かなり大変だと思いましたが、ゴミひろいや、水をくぶるの外まにあわす、一回テーブルの上のコップが、かきになっっているのを見て、びっくりしました。それに、水をすててくれたあとにゴミ箱に入れてくれるので、「ありがたいな」と、思いました。走る人がいなくなったあとを見ると、コップが10杯もコにされて、真黒になっただけだったので、たくさん人の人がたこととかよくわかりました。

私は、6年生になったら、もう一回ボランティアに参加しようと思いました。もう一回流山の力になりたいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 3組 名前

私はロードレース大会を見るのははじめてだったので、すごくにぎやかで多くの人が走る大会なんだと感じました。そして、私が応援などをしているとき、走っている人に「ありがとうございます。」と言われました。

人の役に立つという快感を味わいました。

また、「ありがとうございます。」と言われ、うれしかったです。

あつか、たけれどたのしかったです。

また、第かん門を全員時間内に通れたのかも気になります。あつか、たので熱中病の心配もありました。そしてあんなに大勢の人が走る理由などもきいてみたいです。声がかかれたり、水をかけられたりしたけれど、ボランティアに参加してよかったです。最後のきのこスープは多様なきのこが入っていておいしかったです。

来年もロードレースボランティアに参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 3組 名前、

私は紙コップのゴミすでの呼びかけを担当したのですが、声かけに気づいてもらえるくらい酒已でした。始め入れてくれる人はいたけれど、声の大きさが足りなかったのかなかなか入ることが少なかったです。しばらく中間にたくさんの方が来ると渋滞が起こってとても驚きました。呼びかけもとても忙しくなってきました。でもそんな私達を見て「がんばってね」「ありがとうなど」と声をかけてくれる人もいました。そして無事に活動し終えて、人のために何かをやるのはとても楽しい気持ちいいなと思いました。来年もまたこの活動に参加したいと思います。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 3組 名前

私は、流山ロードレースボランティアが終わった後、とてもすがすがしい気持ちになりました。理由は、きっと「良いことをした」という意識があったからだと思います。

私の仕事は、紙コップをゴミ箱にすてるようよびかけること、紙コップ拾い、参加者への応えんのりつでした。

先頭の方の人達は、給水所に来るのもすごく速くておどろきました。テレビで見るマラソン大会のようで、すごいと思いました。最後の方を走っている人達は、ペースは落ちてしまっているけれど、紙コップをすてる時、「ありがとう」と言ってくれたりして、うれしかったです。これは、テレビでは見る事ができないので、貴重な体験だと思いました。

このけいけんを、次の総合などで生かせるよう、がんばろうと思いました。できれば、来年も参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年3組 名前

流山ロードレースボランティアに参加して、私は生で
約4000人の人を応えてきてとてもうれしかったです。

とくにうれしかったのは、応えていたときに「ありがとう」
と走っていた人がいってくれたことです。

けれど「もや、ばり一番になった人はすぐなにも
言わずにいってしまいました。だけれど私はがんばら
て走ってくれるだけでうれしいです。

またこの経馬会をいかして、おもてなしプロジェクト
をがんばっていきたいと思います。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 4組 名前

ぼくは流山ロードレースボランティアに参加して、まず思った事は、スタートする場所からはなれているのに、すぐに走ってきたので、テレビなどで走っている人は見るけど、近くで見るとすごい速く走っていたので、自分もあのぐらい速く走りたし、と思いました。つぎに、「ゴミ箱ここにあります。」や「かんは、てください。」と言っていたら、走っている人に「ありがとう」と言ってもらえてうれしかったのも、とがんばろうと思いました。今回、流山ロードレースボランティアに参加できてよかったです。また、このような機会があれば、またやってみたいと思いました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

5年 5組 名前

私はボランティアに参加してとてもよかったです。最初はどんな事をするのかなと思っていたけど、簡単な仕事でよかったです。でも次は少し難しい仕事を仕せてほしいなと思いました。そして自分にとっての大声を出したのでたくさんのランナーの方がゴミ箱にに入れて下さいました。最後達成感がありました。あと、全力で「がんばれ！」や「ファイト！」など応援していたら、ランナーの方の何人かが「ありがとう」と言って下さって大声を出したかいがあったなとうれしくなりました。足や手に水がかかっちゃったけど先生方が言っていた通り、とても貴重な体験ができました。来年もまた参加したいと思いました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 1組 名前

今回の流山ロードレースボランティアは高校生と
やりましたが、とてもたいへんでしたしおもしろかったと
思います。最初の選手がきたときは、早く7びくりしました。
私はこのころ胃がいたくてあまり応えんができませんんね
んでした。人がいっほいきたときは、水不足になたりしてたい
へんでした。紙コップが落ちていたときにとりに行ったり
したのは、あやかさんがよくしていたと思います。け、こう遠くに
落ちていたコップを走ってとりに行ったりして、かんばっていて
すごいと思いました。

最後の人が行くときに、みんなで応えんをしました。
大きな声で応えんしたときに、その人が「ありがとう」
といってくれてうれしかったです。他にも、応えんをしたときに
「ありがとう」といってくれた人がいっほいいました。

ロードレースが糸冬わったときに、みんなでカズミの店長が作
ったきのこじるをのみました。とてもおいしくて、2杯いものんで
しまいました。最後に、きねんごっえいをしました。ロードレース
のボランティアをしてよかったです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 1組 名前

ぼくは、昨年もこのロードレースボランティアに参加したので今年で二回目の参加となりました。

昨年のボランティアではまだ5年生だったためゴミ捨てしか行いませんでした。でも今年で6年生になったので給水所の手伝いもできてとても楽しかったです。また、ぼくはずっと同じ場所で手伝いをしていたのでわかりにくかったですが、この給水所、また、ゴールまで走る人はとてもすごいと思いました。ボランティア中にも同じことを思ったので「頑張ってください」と応援しました。また、カスミの店長さんがきのこの汁をくれたのでとても嬉しかったです。ぼくはこのボランティア体験を通して、地域イベントに参加する大切さ、楽しさが学びました。だから、中学生、高校生になっても、ロードレースだけでなく、他のいろいろなボランティアイベントに参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 ↓ 組 名前:

ほくは、ロードレースボランティアでいろいろな人と協力して、人のためになにかをすることを学びました。ほくは、水を必要とする役割をまよせられて、その任務をこなしたけれど、だんだん水をとりまく人がふえて、水が足りなくなってきたので、ほくも、自分の考えで水をくむように思いました。なので、その考えのとおりに水をくんでも、あまり改善せず、渋滞も悪化の一歩でした。その考えはまちがっていたのだと思います。そして、その経験で、その場に応じてやることはかえていったほうが良いことを学びました。「臨機応変」をまさに実行できましたと思います。

ロードレースのボランティアは、水がたまって、大量の水をかきだしたりしたけれど、とてもいい経験になったと思います。

ボランティアのあとのきのこなどが入るようみえるものもとてもおもしろい経験になりました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 2組

名前

★☆☆☆

私は、ランナーが捨てた、紙コップを拾う仕事をしました。この仕事は、去年もしましたか？
今年も、ゴミ箱に落ちて捨ててくれる人や、

「ありがとう」と言ってくれる人もいて、とてもうれしかったです。この日は暑くて立っているだけで大変だったので、ランナーの人は、暑い中走って、もっと大変だなと思いました。それに、中には給水しない人もいたので、大丈夫かな、と心配になりました。でも、「がんばって下さい」と言っていると笑顔になってくれたので、私もがんばろうと思い、大きな声で応援することが出来ました。

私は、あまり運動が得意ではありませんが、ボランティアは人の役に立てる良い機会だと思います。この経験を生かしてまた、ボランティア活動をしていきたいと思っています。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 二組 名前

ほしはロードレースボランティアに参加して、最初は、
しかり仕事をサボって家でしていたにも仕事を
こなしてあげようという気持ちで来たのだと思っ
ました。紙コップのゴミを捨てる役目です。路
上には紙コップが何度も落ちていて選手のみ
なさんは走ることに集中して一生懸命に
走っているのちやと改めて感じました。
大きなバケツから後の人達が水をくんで
いて、ほくも手伝いました。あんなに大きなバ
ケツから水をたくさんくむのは初めてで、
びっくりしたけど、選手のみなさんに早く水を
届けられるようにできました。応援では、
選手のみなさんに「かまはってください」という
声をかけました。選手の人達が暑い中かま
はらなくてもうたぬに、しかり仕事ができました。
今後この経験を生かしていきたいと思いま
す。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 3組 名前

私は、流山ロードレースボランティアに参加して紙コップ
ゴミ箱の役をやらせて頂き、ランナーの人たちに向け、
その辺に捨てないでゴミ箱に入れてくれて、「ありがとう」と
いう意味で、「ありがとうございます」と声かけしたら、「あ
りがとう」と返してくれてうれしかったです。それに、
紙コップを捨てる前に残ったのおしりを地面に捨て
てから入れてくれたりして、タイムが少しおくれてしま
うのに、協力してくれてとても片づけが楽でした。
ランナーの人たちは、ゴミ箱にいたなかった人たち
も、道路のほじの方に向け投げて、一ヶ所に集
まっていました。そのほとんどの紙コップが
つぶれていて、走っているのに、他の人たちが
転ばないようにとが、ゴミ箱にちぎんと捨てるこ
とを意識してくれているんだなと分かってよかったです。
東京2020のオリンピックパラリンピックの
ボランティアにも、進んで参加して、協力して
きた...と思いました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 3組

名前

ボランティアに参加して走っている人が
たくさんいて、紙コップがあちこちに落ち
ていてひろうのが、たいへんでした。

だけど走っている人の何人かが、「ありが
と」と、お礼を言ってくれました。

ぼくは、このボランティア活動を5年(毎
年の2年間)やって、応援をすると、お礼
が、帰ってきて、ボランティアをやってよ
かった。走っている人も、帰りがんばってき
てくれる。ぼくは、そう思いました。だから
ぼくは、これから、自分でも、出来るボ
ランティア活動なら、なんでも、やろうと
思いました。だからぼくは、参加出来る
ボランティア活動をやり続けます。

返

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 3組 名前 ふん

ぼくが流山ロードレースボランティアに参加して思、たことは、ロードレースに参加している人達は、テレビで見た参加している人達と同じように必死でした。でもつかれていて、酔いさられた水を飲みながら歩いている人もいました。その時ぼくは、ゴミ箱を持って紙コップを回収していたのでゴミ箱にこれもらう時や前を通るにおうえんしました。参加している人におうえんをしたら何人かはまた走りたしたのでよかったです。

ぼくがボランティアに参加してうれしか、たことは、おうえんしている時、走っているランナーの人達がありがとう、と言ってくれて、ぼくはやりがいを感じました。

2020年のオリンピックのボランティアにも参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 4組 名前 〇〇

流山ロードレースボランティアに参加して、「人々の心のあたたかさ」をあらためて感じる事ができました。真ん中ぐらいいくって来た人がたまに「はい、ありがとう」とか「頑張ってるね」などの、あたたかい言葉をかけてくれて、とても嬉しかったです。一番嬉しかったのは、「暑い中ありがとう。ごろうさま。頑張ってるね」と、すごく心のこもった声をかけてくれた人がいて日本人の心は優しいことをあらためて感じられました。なので私はロードレースボランティアに参加して良かったと思います。また、いろいろなボランティアに参加できる時があったら参加したいです。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 4組

名前

流山ロードレースのボランティアに参加して思ったことは、4000人近い人が給水場にぞろぞろと来ました。

すごい人の人数が飲み物をとったのでゴミを捨てるのが大変でした。通った時に大声で「がんばってください」と声をかけたら「ありがどう」とその人が走っている最中に言ってくれたのでそんなけ役立っていたとは思いませんでした。走っているのに「ありがとう」と言ってくれたのでよかったです。

最後の片付けの時、飲み物が残っていたので3杯も飲んじやいました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 4組

名前

私は、流山ロードレースボランティアに参加して、1番印象に残ったことは、き伝いや応えんをした時、ロードレースに参加している人たちに「ありがとう」と言われたことです。この言葉をきいて、私はし、かりロードレースのき伝いができているということを感じました。

また、「ありがとう」と言われて、ボランティアの活動や応えんをもっとがんばろうと思えました。

流山ロードレースボランティアに参加してとてもいい経験ができてよかったです。

このようなボランティア活動がまたあったら参加したいと思いました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 4組 名前

今回ロードレースのボランティアに参加して思ったことがあります。それは、感謝がいろいろ集ったことだと思います。走っている人に、水をあげたり、ゴミを拾ったりするのも、走っている人たちに、おうえんすることも、ゴミを拾った走っている人に「ありがとう」と言われるのも感謝です。とても良い気持ちで、ボランティアができました。

家へ帰って、夜になり、テレビをつけました。私は、ニュースを見ていたら、「ロードレース、千葉県流山市で、男女合わせて11人が熱中しよう」とアナウンスの人が言っていたので、まさか!と思いました。でもたしかに水をすてた後に、歩いて「ハアハア」といろいろな人が言っていたので、それはなるか...と少し思いました。

ねる時にも、ロードレース本当に大変なことになってしまったと思いました。

熱中しようになった人のことか心配にならなうかありませんでした。次の朝になると、またテレビのニュース、ラジオで、ロードレースのことかやっていた。ものすごくニュースに出ていたので、びっくりしました。

「おもてなしプロジェクト」流山ロードレースボランティアに参加して

6年 4組

名前

私は、流山ロードレースを通じて、ボランティアの大切さが

わかりました。このような大会では、ボランティアの力がた

いと、大きなことできるのだ。このような大会が

あったらまた参加したいです。